

求人募集要項：レーザ網膜投影ウェアラブル端末 組込み系ソフトウェア開発エンジニア

■職務名称：レーザ網膜投影ウェアラブル端末 組込み系ソフトウェア開発エンジニア

■配属部門：視覚情報デバイス事業部 開発製造グループ

■募集理由： 当社は、量子ドットレーザ技術の事業化を目指す先駆者として、2006年に富士通研究所のスピノフベンチャーとしてスタートし、これまでに、世界で初めて通信用の電流無調整量子ドットレーザ、シリコンフォトニクス用マルチチャンネル量子ドットレーザの開発と量産に成功しました。また、先進的で多様な半導体レーザ、網膜走査型レーザアイウェア等の独創的な製品を次々に生み出しています。これらの技術、製品は、光学分野で国際的に最も権威ある賞の一つである「PRISM AWARDS」を、2017年に産業用レーザ分野で、2019年にビジョンテクノロジー分野で、其々受賞する（複数回受賞は国内初）など、世界的に高く評価されています。2021年2月には、当社の革新性と成長可能性を評価されたことから株式上場（東証グロース市場）を果たしました。

レーザ網膜投影の分野では、10年をかけて開発した独自のレーザ網膜投影技術を用いて、視覚障害者支援、眼疾患予防、視覚拡張の3つの領域で、人類の可能性を拡張する挑戦を続けています。これまでに、「視覚障害者支援」として、屈折異常の視力補正を目的とする医療機器のRETISSA[®]メディカル、ピント調整機能によらずに美しい画像が見える民生機器のRETISSA[®]Display 2を製品化し、累計900台以上を販売してきました。また、「眼疾患予防」のための眼の健康チェック機器であるRETISSA MEOCHECKを最近リリースしました。

この度、これら一群の製品開発において、組み込み系ソフトウェア開発分野を担っていただけるエンジニアを募集します。

■開始時期：2023年7月頃から就業可能な方（早い方がよい）

■就業場所：川崎市川崎区南渡田町1-1 京浜ビル

■年齢：20代後半～40代後半くらいまで

■想定年収：600～800万円程度 ※双方応相談

■雇用形態：正社員

■業務内容：

・組込み系ソフトウェア開発エンジニア（主要言語＝「C言語系」）

製品情報：<https://www.qdlaser.com/applications/eyewear/>

・要件定義、概要設計、詳細設計、コーディング、出荷検査プログラムの設計・構築

・ソフトウェアに関するトラブル時の対応、外注先製造会社のコントロール など

■スキル／経験：

【必須（MUST）】

・組込み系ソフトウェア開発の経験

・カメラ付き携帯電話、ビデオカメラなど小型精密機器の組込み機器に関するソフト設計・開発経験

・要件定義、概要設計、詳細設計、およびコーディング

【歓迎 (WANT)】

- ・電子医療機器のソフト開発経験
- ・IEC62304 (医療用ソフトウェアの設計に関する国際規格) に準拠の開発手順理解等
- ・フィードバック制御系の設計経験

【コンピタンス】

- ・事業全体を把握し、目標から逆算してPDCAをスピード感をもって回し、成果を上げられる。
- ・分析と検証能力に優れ、必要に応じてリスクをとることができる。
- ・社内外を巻き込んで事業を前進させられる堅実で外交的なコミュニケーション能力を有する。

【人物像】

- ・新しい技術に興味を持ち、自ら考え、自ら行動できる人。
- ・チャレンジ精神にあふれ、目標達成できる人。
- ・開発、生産、営業メンバーとのチームワークを大切にしながら業務を遂行できる人。

以上